

報道関係者各位

日鉄興和不動産株式会社

～ニューノーマルな住まい・暮らしのニーズに応えたリモートワーク空間の仕掛けを提案～
新たな生活様式に対応する住まいのソリューション『Remore (リモア)』
自宅内リモート空間「リモアゼット」「リモドア」「リモデスク」を分譲マンションに導入決定

分譲マンションブランド「LIVIO (リビオ)」シリーズを展開する日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉 泰彦）は、新しい価値観・生活様式に対応する「ニューノーマルな住まい・暮らし」に着目したオープンイノベーション型のプラットフォーム「SMAILOGY (スマイロジー)」^{*}の一環として、新たなワークスタイルなどの生活様式に対応する住まいのソリューション『Remore (リモア)』を企画いたしました。第1弾として、3つの自宅内リモート空間「リモアゼット」「リモドア」「リモデスク」を開発、現在計画中の分譲マンションに導入することが決定いたしました。今後も『Remore (リモア)』の発想に基づいた商品企画を行い、分譲マンションプロジェクトに導入していく予定です。

※SMAILOGY (スマイロジー)：日鉄興和不動産が2020年8月27日に設立した、with / after コロナ時代の新しい価値観・生活様式に対応する「ニューノーマルな住まい・暮らし」に着目したオープンイノベーション型のプラットフォーム。with / after コロナの観点から、有識者・専門家の知見とともに生活者のリアルな声を集め、「健康な暮らし」「安心の創出 (防災・衛生)」「働き方の改革」「子育て支援」「コミュニティの創出」という5つのテーマに沿って、ニューノーマルな住まいと暮らしを科学 (SMAILOGY) していきます。「SMAILOGY」で行った企画は、今後販売を計画しているファミリーマンションへの導入を予定しています。

・「SMAILOGY」公式サイト：<https://nskre.jp/smailogy/index.html>

・2020年8月27日プレスリリース：<https://www.nskre.co.jp/company/news/2020/08/20200827.pdf>

■『Remore (リモア)』とは

『Remore (リモア)』とは、新たな生活様式で馴染み深い言葉となった「REMOTE (リモート)」と、「MORE (もっと)」をかけた造語です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、在宅勤務やテレワークなどのワークスタイルをはじめとする生活様式は大きく変わりました。この新たなニーズに応える住まいのソリューションが、『Remore (リモア)』です。



■ 住戸内のスペースを有効活用するリモートワーク空間

新型コロナウイルスの感染拡大により働き方に大きな変化が見られ、リクルート住まいカンパニーが行ったアンケート調査では「リモートワークを始めた」「リモートワークが増えた」との回答が約 94%を占めました。※1

しかし自宅ではリモートワークのスペースが不十分であり、「仕事専用スペースが欲しい」との要望が多く挙がっています。そこで、『Remore（リモーア）』ではニューノーマルな住まい・暮らしに基づくニーズに応えたリモートワーク空間の仕掛けを提案いたします。

自宅におけるリモートワークについては、「朝の子どもの身支度や食事の準備により、朝や夜はリビングが使えない」、「夫婦 2 人分のワークスペースが確保できない」、「在宅勤務中は家族の声や音が気になる」※2などの、1 日の中でも変わってゆく生活時間に応じた住まいでの過ごし方や、住み続ける中で成長・変化するライフステージに対応できるよう、可変性のある空間としました。

※1 「新型コロナ禍を受けたテレワーク×住まいの意識・実態」調査（リクルート住まいカンパニー『SUUMO』調べ）

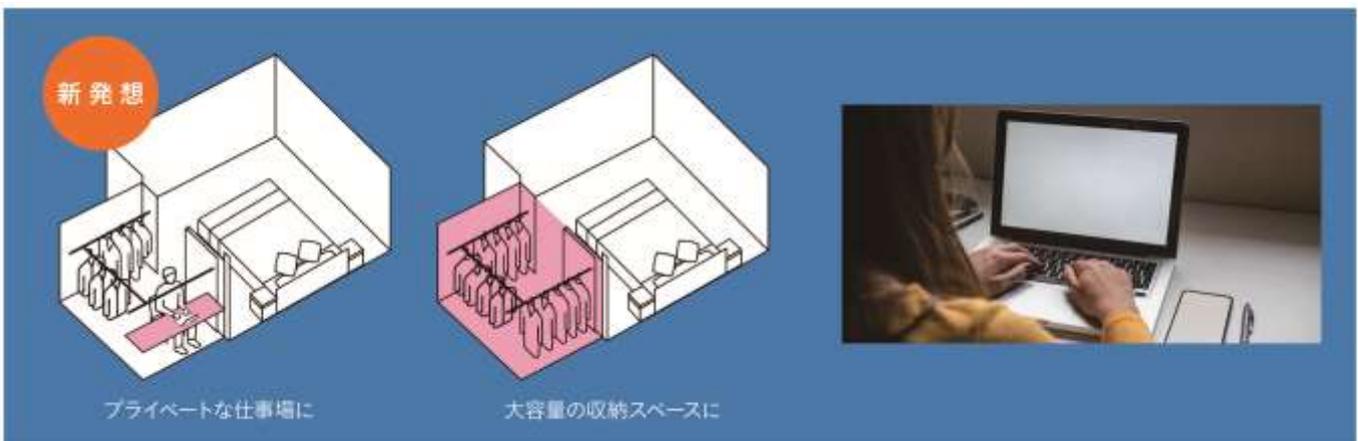
※2 当社の販売物件に会場されたお客様の声の抜粋となります。



以下 3 点の企画については、今後販売予定の分譲マンションに導入する予定です。

① : 大型収納に可動棚と照明、コンセントを設置することでワークスペースとしても使える「リモーゼット」

リモートワークを自宅で行うことになったものの、仕事専用スペースが足りず音漏れ等家族に気を遣いながら仕事をしている方が多く見受けられます。「リモーゼット」は、ウォークインクローゼットに可動棚と照明、コンセントを設置。大型収納としても併用可能な「プライベート空間」を実現します。



② : 間仕切り位置を変更可能。

新発想ウォールドアで空間の可変性を高め、リモートワーク空間を創出する「リモドア」

リモートワークの普及とともに豊かなイエナカ時間に対する要望も高まり、住まいにはさらなる可変性が求められ始めています。「リモドア」はリビングと隣接する洋室のウォールドアの可変性を高め、間仕切り位置が変えられるように設計。洋室の一部を間仕切り、リモートワークがしやすい空間を効率よく創出します。

リビング横の洋室との組み合わせで3種類の使い方を実現し、可変性を高めることでリモートワークのみならずリビングと洋室の新たな使い方を提案します。

使い方① : **広々リビング+リモートワーク空間** (「リモドア」が提供する新たな使い方)

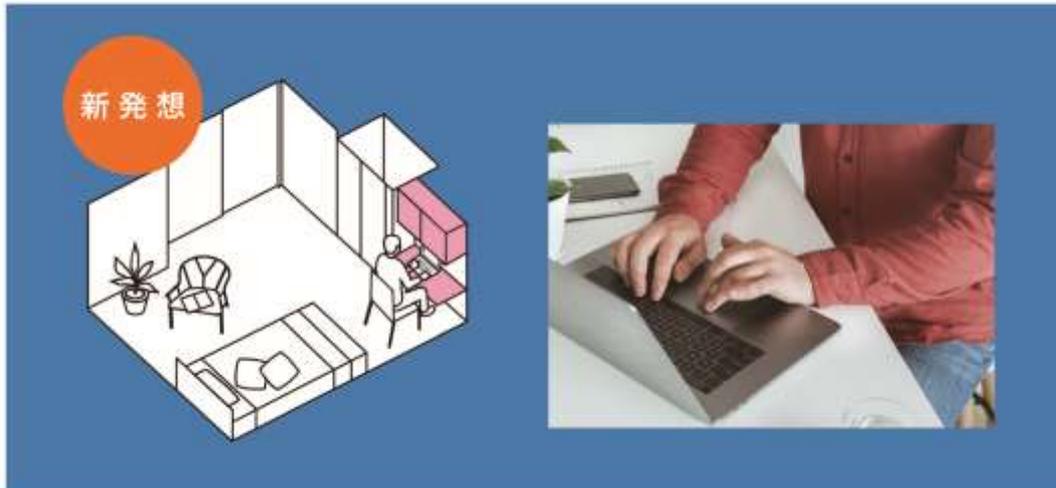
使い方② : 全開放して広い空間に (従来の使い方)

使い方③ : リビングの隣を子ども部屋に (従来の使い方)



③ : 収納下部のデッドスペースにカウンターを設置し、テレワーク空間として使える「リモデスク」

洋室でリモートワークを行う場合、新たにテーブルとイスを設置するスペースが必要となり、空間の圧迫が想定されます。「リモデスク」は予め洋室の壁面にカウンターと照明、コンセントを用意し、仕事や子どもの勉強、趣味などに利用可能なスペースを効率よく確保します。



■今後の『Remore (リモーア)』の展開について

今後『Remore (リモーア)』では、

- (1) 快適リモートワーク環境
- (2) 豊かなイエナカ時間
- (3) 心と体の健康・衛生管理

の3つの観点に基づき、ニューノーマルな住まい・暮らしを実現する商品・サービスを展開いたします。これらをまとめた『Remore (リモーア)』の商品企画は、今後販売する分譲マンションに導入する予定です。



『Remore (リモーア)』公式サイト : <https://nskre.jp/nerimahayamiya/remore/index.html>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日鉄興和不動産株式会社 広報室 担当：吉田

TEL : 080-8438-9224 E-Mail : mikiko.yoshida@nskre.co.jp